

別紙 1

潮来市学童クラブ運営委託業務プロポーザル審査方法等について

1 審査の流れ

- ・審査は、プロポーザル選定委員会による一次審査及び二次審査により行う。
- ・一次審査は、提出された企画提案書等に基づき、二次審査の対象としての適格性を審査し、二次審査の対象として3者を選定する。
ただし、企画提案者が5事業者以下であった場合は、一次審査を省略できるものとする。
- ・第一次審査及び第二次審査は、いずれも別添の審査表による採点で審査する。

2 選定基準

- ・書類審査及びプレゼンテーション審査の総合評価点が最も高い者を受託候補者とし、第2位の者を次点者とする。
なお、合計得点が同点の場合は、プレゼンテーション審査の評価点が高い者を優先する。
- ・総合評価点が最も高い者であっても、総合評価点が6割以上に満たない者は受託候補者とししないものとする。
- ・参加者が1者のみの場合でも本プロポーザルは成立するものとし、選定委員会において審査を行い、選定の可否を決定することとする。

3 採点方法

- ・各審査項目を次の5段階で評価し、各審査項目の配点に各評価段階に充てられた係数を乗じて評価点とする。
- ・各審査項目の評価点の総和（第一次審査及び第二次審査）を総合評価とする。

評価ランク	評価視点	評価係数
A	優秀である / 高度の能力を有している	1.0
B	満足できる / 十分な能力を有している	0.7
C	平均的である	0.5
D	物足りなさを感じる / 能力が若干乏しい	0.3
E	全く満足できない / 任せることが不安である	0.1

(例) 審査項目「募集要領にある目的、内容を業務として位置付けられているか」(評価ウェイト 5) の場合

- A社・・・評価ランクA→点数 5点
- B社・・・評価ランクB→点数 3.5点
- C社・・・評価ランクE→点数 0.5点

4 審査項目及び配点

(1) 第一次審査

評価項目	評価事業	評価の ウェイト
1. 企画提案事業者 の業務執行能力	実施要項等にある目的、内容を業務として位置付けられているか。	5
	実施要項等にある業務と同種又は類似の実績があるか。	5
	業務の実施責任者は、専門的知識や実務経験等の能力を有しているか。	5
	業務を適切にかつ確実に実施できる体制（経営基盤、人材等）を有しているか。	5
2. 企画提案の内容 の目的と整合性	目的に沿った児童の育成支援や魅力ある育成支援が提案されているか。	1 0
	保護者・学校・行政・利用者等の意見の把握と対応及び連携がなされる提案であるか。	1 0
	本市の子育て環境、地域特性などを分析し、児童や施設の安全性、学童クラブの将来に向けた内容の提案であるか。	1 5
	災害や防犯防災、個人情報保護、事故等に対する安全対策は十分であるか。	1 0
	支援の体制や管理運営体制が整えられ、労働安全衛生についても十分な取り組み体制や運営方法等が提案されているか。	1 0
	その他自由意見として、児童にとって有益な独自提案が示され、学校との良好な関係を築く提案がなされているか。	1 0
3. 見積金額	見積金額及び事業費の積算内訳は妥当か。	1 5

計 1 0 0

(2) 第二次審査

評価項目		評価基準	評価の ウエイト
1. 事業者の運営方針及び実績		事業を継続的に運営できる事業者であるか。	10
2. 学童クラブの運営方針		事業の内容及び地域性を理解した内容であるか。将来的な学童クラブ運営の提案がされているか。	5
3. 児童の安心安全な保育に関する業務	児童の健康管理	児童が健康的に過ごせる環境に配慮をした内容であるか。	5
	安全確保	緊急時の対応が十分であるか。また、事故・怪我及び不審者等への備えが十分な内容であるか。	5
	情緒の安定	集団生活の中で、子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮できる提案か。	5
	児童の遊びの指導及び行事計画	児童の年齢等に応じた遊びの提供と季節に合った行事や児童の感性を増長する計画があるか。	5
4. 事業の運営及び施設管理に関する業務	関係諸帳簿による管理	児童や支援員等の出席、勤務管理を行い、業務内容を日誌等により適切に管理ができるか。	5
	備品、施設等の管理と周辺環境整備	施設、設備等の点検、備品の管理、学童クラブ周辺の環境整備等は計画的に実施をする提案であるか。	5
5. 利用者等への対応業務		保護者等と信頼関係を築き、丁寧な対応がなされるか。また、漏れのない連絡方法の提案がされているか。	5
6. その他事業運営に必要な業務	担当課、学校、地域等との連携	担当課、学校、地域等と良好な関係を築き、地域の実情と連携した運営ができるか。	5
	配慮児童への対応及び児童虐待予防及び発見時の対応	障害等について理解と知識を有し、児童が安心して利用できる対応と関係機関との連携ができるか。 児童虐待について知識を有し、常に児童の見守りと発見時の迅速な対応ができるか。	5
	個人情報保護	個人情報保護について、適切な管理と漏洩防止に努めているか。	5

7. 支援員の体制に関する業務	支援員等の配置及び研修計画等	児童数、配慮児童数により、適切な支援員等の配置ができているか。 職場内外での教育訓練や研修等の機会を確保し職員が自発的、継続的に研修に参加できる計画となっているか。また、有資格者の取得目標割合は定めてあるか。	5
8. 労働安全衛生業務		支援員等の労働実態や意向を把握し、健康で意欲的に就業できる体制と、健康診断や労働環境整備に努めているか。	5
9. 苦情等との対応業務		児童や保護者等からの要望や苦情に対し、迅速かつ適切に誠意をもって対応し、職員間で共有できる体制であるか。	5
10. 特色ある取組		子育ての環境や地域の特性を把握し、児童にとって有益な提案がなされているか。	5
11. 見積金額		本事業を遂行する上で、必要金額を満たし、かつ経費削減等の企業努力の取り組みがなされているか。	10
12. 総合評価		総合的観点（熱意、課題への認識や取組等）	5

計 100